



2025.1.14

瀬戸ひなご幼稚園園長 神戸洋美

新年を迎えて

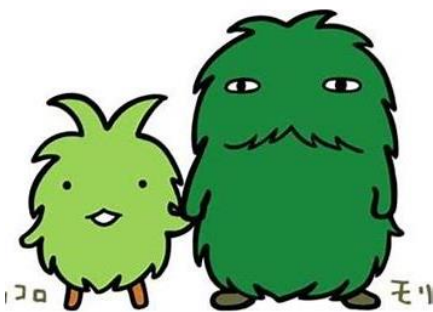
あけましておめでとうございます。ご挨拶が遅れましたが、本年もどうぞよろしくお願
いいたします。3学期は1・2学期に比べて一番短い期間ですが、1年を終えて新たな学
年に入学・進級する喜びの学期です。子どもたちの成長を喜び、思い出に残る3学期にし
たいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、2024年の出生数は70万人割れとなり、過去最少を更新することとなりました。
超高齢社会を迎えた日本を支えていくのは次世代の子どもたちであり、いかに次世代育成に力を入れて
いくかが重要課題です。そこで愛知が次世代育成のために力を入れていることを2点紹介いたします。

昨年の10月31日、愛知県はスタートアップ支援拠点となる「ステーション Ai」をオープンしました。
愛知県にクラスター集積する製造業を中心に、大手メーカーの技術を、オープン・イノベーションで高い付
加価値を生み出そうとする狙いです。2階には、愛知県ゆかりの企業家、五十四人の功績を展示した「あい
ち創業館」がオープンし、小中学生や高校生などの、起業への関心を高める効果を図っています。トヨタ
グループの創始者である豊田佐吉さんや、ソニーグループ創業者の盛田昭夫さんなど、企業家のエピソード
や名言、生み出した製品などをデジタルツールで紹介し、愛知県の産業の起源をプロジェクトマップ
などで紹介するコーナーもあります。モノづくり愛知を支える次世代が育成され、より一層活躍するこ
とを願っています。この2階は無料ですので、ぜひ一度お子さんと訪ねてくださいね。

さらにもう一つ、皆様は今から二十年前の愛知万博を覚えていらっしゃるでしょうか。この愛知万博は、
20年前「自然の叡智」をテーマに掲げ、市民が参加しながら、地球規模の課題解決に取り組んだ万博とし
て大きな成果を残しました。2025年の今年、二十年ぶりに日本で国際博覧会「大阪・関西万博」が開催

されることになり、人類が抱える課題とその解決策（持続可能な世界の
創造や SDGs など）への注目と共に、「万博」への関心が高まる年
です。改めて愛知万博の理念と成果を、次世代へつなぐ絶好の機会ととら
え、愛知万博二十周年記念事業「愛・地球博20祭」を3月25日から
9月25日まで開催する事業を進めています。25年前、親と一緒に万
博を訪れた子どもたちは、社会人となり親となり、様々な場面で活躍さ
れていることでしょう。未来を担う次の世代に愛知万博の理念を継続し
てもらうためにも、多くの皆様にご参加いただきたいと思います。楽し
みにしててくださいね。



ほめて伸ばす

冬休みのばーばの使命は、孫たちの宿題の「書初めを書き上げること」でした。暮れの28日、幼児から
中学生まで勢ぞろいで、その中の小学生3人が習字道具を持ってきました。その状況を見て、長男である我
が息子が「怒られて、泣きながら書くんだらうなあ」と一言。昔、自分が怒られながら宿題をやったことを
思い出したようです。私から一言「子どもと孫は違うのよ〜。」

早速、テーブルに道具を広げて墨を出して準備です。使用済みのコピー用紙（裏が白紙）がためてあるの
で、まずその紙に何度も何度も納得できる字が書けるまで練習させました。時々手を取って一緒に書きます。
「下手だね。変な字だね。もっとこうしないと。」などのマイナス言葉で指導しても、子どもたちのやる気
は起きてきません。いやになって心を閉ざして、途中でやめてしまうかも？逆に「すごいね。さっきより良
くなった。ここの形がいいね。」とほめていくと、長時間取り組んでなんとか形になってきました。そこで
清書の紙に書かせました。10枚書いてどの作品を提出するかは、親にパト
ンタッチして選んでもらいました。

ばーばの役目完了！でも、我が子の時にどうしてこれができなかったん
だらう。子どもたちに「ごめんよー」と反省した私でした。子どもの指導は
「ほめて伸ばす」を忘れないようにと改めて思いました。

